

自施設実習課題設定

自施設実習課題分析シート手順書

協力スタッフの選定

今回の取り組み対象となる『協力スタッフ』の概況をまとめる。

まとめる情報：「氏名」「職種」「資格」「自施設の勤続年数」

協力スタッフの実践上の課題とその背景の明確化

【取り組み1】課題分析シート①

協力スタッフが認知症ケアの中で技術等の課題があると感じる現状を取り上げる。

【取り組み2】課題分析シート②と②´

なぜ、その現状が生まれているのか。協力スタッフのどんな能力に課題があるのかなどの原因を分析する。

＊現状（課題）に対しての原因はよく分析することが必要である。

②´の能力チェックと「アセスメント表（課題チェック表）」をチェックして、どこに原因があるかの根本原因を見極める。

【取り組み3】課題分析シート③

①の現状が続いてしまうと、チームや利用者にとってどのような弊害や不利益などの問題が生まれてくるのかを記入する

教育の方法と評価方法

【取り組み4】課題分析シート④

原因が明らかになり、協力スタッフへ効果的な教育の方法は何かを見つけていく。「知識」「能力」「介護方法（技術）」から、今回の研修（講義・演習）で修得した教育方法の手立てを具体的にしていく。

協力スタッフの目標達成がゴールであるが、達成するための「ステップ」を踏めるように、ステップ毎の教育方法と評価方法を構築する。

「ステップ」の展開方法については、別紙『教育の展開方法について』を参照

また、教育の評価方法については、認知症ケアにおける知識・能力・技術・考え方といった側面等から検討するが、評価方法としては、「テスト」「レポート」「面接」「質問」「記録」「ケア場面等の観察」「利用者の状態の変化への観察」などが考えられる。

評価方法が定まったら、実際に評価に使う様々な書類やツールを作成する。例えば、テスト問題やアンケート項目、面接の際の流れや具体的な質問内容、観察の際に使用するチェックポイントなどを準備すると効果的である。

協力スタッフが教育を受けたあとの姿を考える【効果予測】

【取り組み⑤】課題分析シート⑤

課題分析の結果から導き出された教育方法等を展開していくと、協力スタッフはどんな姿になるのか、効果予測をしてみる。

すなわち、教育の効果予測は協力スタッフにとっての目標により近いものとなる。。

リーダー実習生自身の指導や教育に関する振り返り

【取り組み⑥】分析シート⑥

実習生自身がリーダーとして、これまでの指導や教育についての振り返り、研修の学びを通して感じたこと、現時点で出来ていること、出来ていないこと等を明確にする。別紙『リーダー実習生振り返りシート』により、分析シート④で構築した「ステップ」に沿って自分の指導や教育における現状と課題を分析してみる。

今回の実習（指導・教育）における留意点や方法

【取り組み⑦】課題分析シート⑦

リーダー実習生自身の指導や教育の課題を整理したので、分析シート④で導き出された具体的教育方法を行う上で、指導上の留意点と方法を押さえておく。特に留意することを意識することで、指導や教育のブレを防ぐことができる。

指導や教育の成果予測

【取り組み⑧】課題分析シート⑧

今回の取り組みにより、リーダー実習生自身の予測される成果を記入する。

すなわち、『リーダーとしてのあるべき姿』に近づくことである。